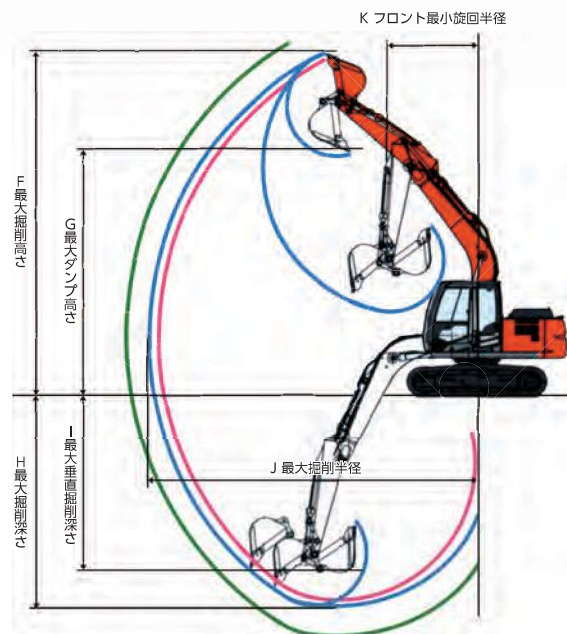
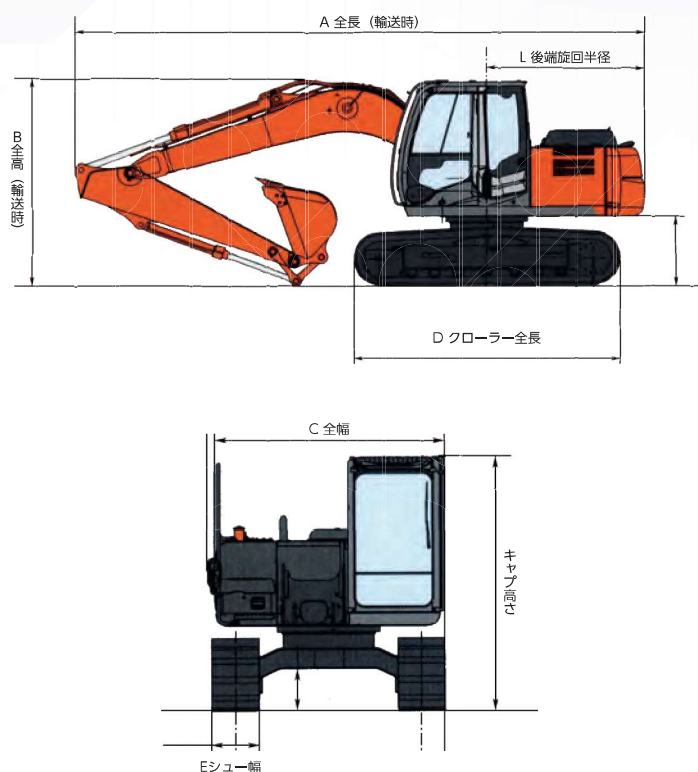


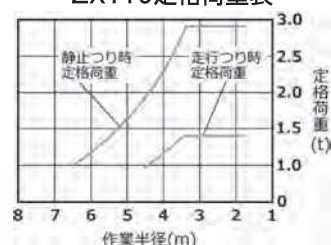
バックホー（油圧ショベル）

スタンダード

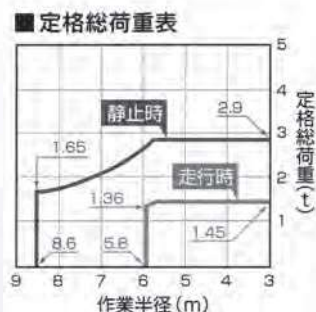


種 類		0.4mバックホー		0.7mバックホー	
		ゴムパット		鉄キャタ	
型 式		ZX110		ZX200	SH200
バケット容量（山積）	m ³	0.45		0.8	0.8
バケット幅（サイドカッタ含/無）	mm	920/800		1140/1030	1130/1030
機 械 重 量	kg	10,900		19,400	19,900
（機体寸法） （輸送時）	A 全長	mm	7280	9500	9400
	B 全高	mm	2740	2970	2970
	C 全幅	mm	2490	2860	2800
D クローラー全長	mm	3340		4170	4180
E シュー幅	mm	500		600	
掘削性能	F 最大掘削高さ	mm	8110	9600	9610
	G 最大ダンプ高さ	mm	5700	6780	6810
	H 最大掘削深さ	mm	5080	6670	6650
	I 最大垂直掘削深さ	mm	4110	6050	5960
	J 最大掘削半径	mm	7760	9910	9900
	K 最小フロント旋回半径	mm	2400	3540	3600
	L 後端旋回半径	mm	2130	2750	2750
排土板寸法（幅×高さ）	mm	—			
最大吊り上げ能力 （クレーン仕様の場合）		2.9t			
キャノピ/キャビン		キャビン			
燃料タンク容量	L	250		360	410
使用燃料		軽油			
メーカ		日立建機		住友建機	

ZX110定格荷重表



SH200_定格総荷重表



作業半径	静止時 定格総荷重
5.8m以下	2.90t
6.0m	2.72t
7.0m	2.15t
8.0m	1.75t
8.6m	1.65t

バックホー（油圧ショベル）

クレーン仕様とは



外れ止め付き格納型フック

外れ止め付きフックの採用により、吊り荷の落下を防止します。
掘削作業時には、フックをバケットリンク内に格納できます。

労働安全衛生規則第164条により車両系建設機械による「作業の性質上やむを得ない時または安全な作業の遂行上必要なとき」のような特定条件下で次のような安全措置を講じることにより、荷の吊り上げ作業が認められることになりました。

- (1) アーム、バケット等の作業装置に一定要件の吊り上げ用具が取り付けられていること
- (2) 次の安全措置が講じてあること
 1. 合図を定め、合図者を配置すること
 2. 平坦な場所で作業すること
 3. 吊り上げた荷の落下等のおそれのある場所は、立入禁止とすること
 4. 吊り上げる荷の最大荷重は、吊り上げの能力（バケット容量×1.8）以下であって、かつ吊り荷と吊り具の合計質量が1 t未満であること
 5. 玉掛け用ワイヤロープ、吊りチェーンは一定の要件に該当すること

平成10年に(株)日本クレーン協会において、労働省（現厚生労働省）の委託を受け、JCA規格（日本クレーン協会規格）として「油圧ショベル兼用屈曲ジブ式移動式クレーンの過負荷制限装置」を制定しました。この規格のポイントは、「吊り上げ荷重が3 t未満の油圧ショベル兼用屈曲ジブ式移動式クレーンに装備する過負荷制限装置」について、その機能、構造、性能等を規定にしたものです。

クレーン機能を備えた車両系建設機械には、クレーン作業を安全にするため、JCA規格に適合した過負荷制限装置をはじめ各種の安全装置等が備えられています。これらの安全装置は、切替スイッチによりその機能を有効にするものについては、クレーン作業に際しては、必ず安全装置を有効な状態にして使用することが必要です。また、点検等のために、一旦安全装置を解除した場合は、忘れずに復帰させてください。

必要な資格

作業内容	荷重または質量	必要な資格
クレーンの業務	0.5 t 以上1 t 未満	移動式クレーン特別教育
	1 t 以上5 t 未満	小型移動式クレーン運転技能講習
玉掛けの業務	0.5 t 以上1 t 未満	玉掛けの業務特別教育
	1 t 以上5 t 未満	玉掛け技能講習
積込、掘削の業務	機体質量3 t 未満	車両系建設機械運転特別教育
	機体質量3 t 以上	車両系建設機械運転技能講習